

第11回 海洋教育こどもサミット in 気仙沼（オンライン大会）への参加校募集について

宮城県気仙沼市教育委員会は、海洋教育パイオニアスクールプログラム（地域展開・アドバンス部門）の一環として、岩手県洋野町教育委員会、福島県只見町教育委員会等との共催にて、「第11回 海洋教育こどもサミット in 気仙沼（オンライン大会）」を開催いたします。本イベントは、東北各県で取り組まれている海洋教育の成果を児童・生徒が主体となり発表・交流するものですが、この度、子ども主体の学び合いの輪をさらに広げるため、東北地方に限らず海洋教育パイオニアスクールに参加している小・中・高等学校の参加を募集いたします。

参加をご希望の学校は、詳細（次ページ以降）をご確認のうえ、下記の要領でお申込みください。なお主催・共催の教育委員会管轄の学校については各委員会にて取りまとめますので、応募は不要です。

《募集について》

- ・対象：地域に関わらず、海洋教育パイオニアスクールプログラムに参加する小学校・中学校・高等学校
- ・枠数：若干数（先着順で受け付け、上限に達し次第募集を終了いたします。）

《お申込みにあたってのお願い》

- ・当日の様子は主催者にて録画・撮影し、主催者および海洋教育パイオニアスクールプログラムの広報資料として公開することがあります。あらかじめご了承ください。
- ・「学びの深め合い」でのディスカッションに向け、事前学習・準備をお願いいたします。内容や進め方は開催要項「9. プログラム」該当箇所をご確認ください。

《お申込み方法》

「参加申込みフォーム」(<https://bit.ly/3PBNaFl>)からお申込みください。

*フォームを利用できない場合：メールにて「お問い合わせ先」へご連絡ください。

その際、メールタイトルを「～海洋教育こどもサミット参加申込み～」とし、以下の6点を記載してください。

- ① 学校名
- ② ご住所
- ③ ご担当者名
- ④ 連絡先（電話番号・メールアドレス）
- ⑤ 参加学年
- ⑥ 参加児童生徒数（発表者数ではなく学習に参加する児童生徒数をお伝えください。人数分の学習教材を後日お送りいたします。）



参加申込みフォーム

《お申込み期限》

令和4年8月31日（水）17:00まで（必着）

《参考情報》

- ・プログラム後半「学びの深め合い」の主題については、昨年度に気仙沼市が作成した海洋教育副読本の「まとめ」を参照（気仙沼市ウェブサイト：<https://www.kesenuma.miyagi.jp/edu/s162/kaiyouedu.htm>）
- ・昨年度に東北地方にて実施された海洋教育こどもサミットについてはこちら（2021年度こどもサミット特設ウェブサイト：<https://ocean-children-summit.com>）

【お問い合わせ先】

宮城県気仙沼市教育委員会（気仙沼市・宮城教育大学連携センター） 担当：浅野

〒988-8502 宮城県気仙沼市魚市場前1-1 気仙沼市魚市場前庁舎

Tel：0226-29-6037

Fax：0226-23-0943

Mail：k-renkei@kesenuma.miyagi.jp

サミットテーマ

海と生きる未来を描く
～未来で「海と生きる」ために必要なことを考える～

1 目的

今回の「海洋教育こどもサミット」は、海洋教育パイオニアスクールプログラム（地域展開・アドバンス部門）の一環として、東北各県で取り組んでいる「海と生きる」を学ぶ探究や実践の成果を児童・生徒が主体となって発表・交流し、自己の考えを他者に伝え多様な考えに出会い、一人一人の課題意識と多角的・多面的思考を深めながらこども主体の学び合いの輪を広げるきっかけとして開催する。

2 期日 令和4年11月25日（金） 13:10～15:40

3 会場 各校 ※参加校は全てオンラインによる参加

4 主催 宮城県気仙沼市教育委員会

5 共催 気仙沼ESD/RCE推進委員会
岩手県洋野町教育委員会 福島県只見町教育委員会

6 参加校 ・東北地方（宮城県気仙沼市、岩手県洋野町、福島県只見町）の海洋教育パイオニアスクールに参加している小・中・高等学校
・その他、本募集による

7 オンライン使用アプリ ウェブ会議ツール（Zoom）

8 プログラム

【開会行事】13:10～13:20 ※Zoom メインルーム

進行：気仙沼市の高等学校生徒

- ・こども代表の開会宣言
- ・主催者あいさつ
- ・サミット全体のねらいの共有（気仙沼市の高等学校生徒より）

【実践発表・学び合い】13:25～14:45 ※Zoom グループルーム

進行：気仙沼市立の中学校生徒を中心に、同高等学校生徒がサポート

- ・Zoomにて4～5校ごとに別れ、実践発表と質疑を行う。
- ・交流のグループは小・中・高等学校の異年齢（異校種）構成で行う。
- ・1校につき、発表10分+質疑5分（計15分）とする。発表10分間の使い方は自由とする。

【学びの深め合い】14:50～15:30 ※Zoom グループルーム

ファシリテーター：気仙沼市の高等学校生徒を中心に、気仙沼市立各校の教員がサポート

テーマ 『未来で「海と生きる」ために、必要なことは何だろうか？』

※ 海のあり方、人の暮らし方は、場所や条件によって変わります。多様な海と人々のかかわりについてのこれまでの学びを振り返りながら、これからも「海と生きる」ために必要なことや大切にしたいことを広い視野と多様な視点から探ってみましょう。

※ この主題は、昨年度に気仙沼市が作成した海洋教育副読本『「海と生きる」を学ぶガイドブック』を参考に設定しています。同副読本はウェブ上で公開しています（1ページ目参照）。

- ・サミットに参加する児童生徒全員は、テーマについての考えを事前にワークシートを活用して整理し、サミット当日までに自分なりのキャッチコピーを小パネルに清書しておく。ワークシートと小パネルは、予め参加発表校に送付予定。

- ・代表の児童生徒は、自分のキャッチコピーを提示し、テーマについて考えたこととその理由や根拠をお互いに伝え合いながら、グループ内で深掘りしていく。
- ・キャッチコピーに書いたことや出し合った考えをもとに、「未来で『海と生きる』ための方向性」についてグループ全員で意見を出し合いながら整理し方向付けしていく。
- ・グループファシリテーター（高校生）は、グループ内で整理したことについて簡潔に伝え、参加者全員で共有する。（※Zoom メインルームへ移動）

【閉会行事】 15:30～15:40 ※Zoom メインルーム

進行：気仙沼市の高等学校生徒

- ・まとめのことば 東京大学海洋教育センター
- ・こども代表の閉会宣言